

第 3 次当別町生涯学習推進計画 の評価・検証報告書 (平成 24 年度)

- 1 . 評価・検証について
- 2 . 社会教育委員による当別町生涯学習推進計画評価・検証の流れ
- 3 . 平成 24 年度当別町生涯学習推進計画評価シート

当別町教育委員会

評価・検証について
(第3次当別町生涯学習推進計画より抜粋)

Why?

なぜ、評価が必要なのか？重要なのか？

5ヶ年計画であることを考えると、1年ごとの検証・見直しが必要である。
一般的に前例踏襲という風潮がある中で、今後よりよい成果を生むためのステップとして、分析・判断などの評価がとても重要である。
行政側のみが単独で行う評価ではなく、第三者評価が入ることにより、評価がより明確化される。ただし、誰もが関わりやすい評価の仕方・検証を重視

Who?

だれが、評価をするのか？

事業を行った職員、機関、団体あるいは担当者 = 自己評価
各年度毎に社会教育委員 = 他者による評価・第三者評価

What?

なにを、評価するのか？

生涯学習推進計画の各期＜さらに発展させていきたいこと＞を中心に評価・検証する。
各事業の結果（各事業の参加者数や参加アンケート等を参考）を評価する。 1
各事業の成果や効果（各事業における波及効果等を参考）を評価する。 2

When?

いつ、評価するのか？

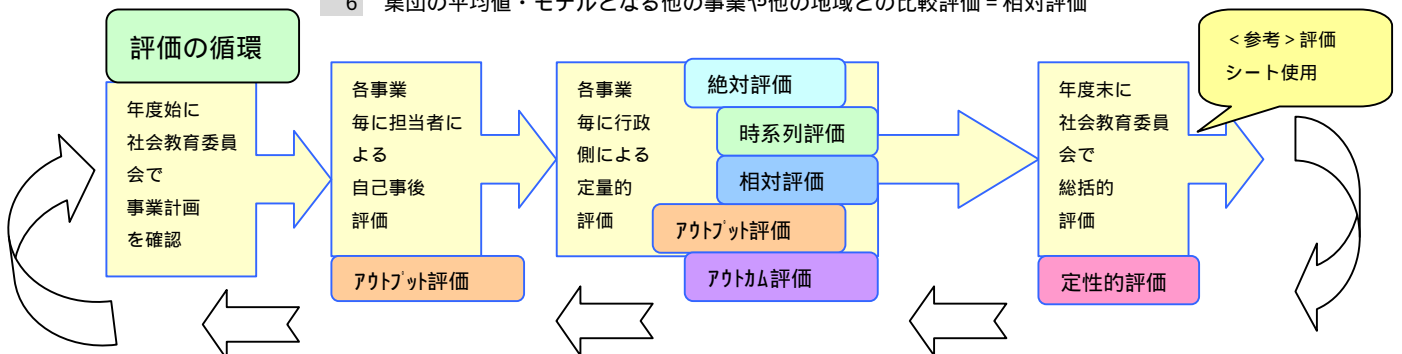
各事業終了後に事後評価する。
総括的評価を年度末の社会教育委員会にて行う。
結果を、教育委員会HPに掲載し、新年度に生かす方策を検討する。

How?

どのように、評価するのか？

＜参考＞評価シートを使って、質・量（ 3 ）をとらえての意見交換をし、評価・検証する。
解釈の基準（3つの評価を前提にしながらの、総合的な意見交換を行う。）
(1)一定の基準を設けて、それに達しているかどうかの評価 4
(2)過去から同じインターバルで測定した結果から達成度・傾向性などを評価 5
(3)集団の平均値・モデルとなる他の事業や他の地域との比較評価 6

- 1 事業の結果について評価＝アウトプット評価 2 事業の成果や効果について評価＝アウトカム評価
3 質をとらえての評価＝定性的評価、量をとらえての評価＝定量的評価
4 一定の基準を設けて、それに達しているかどうかの評価＝絶対評価
5 過去から同じインターバルで測定した結果から達成度・傾向性などを評価＝時系列評価
6 集団の平均値・モデルとなる他の事業や他の地域との比較評価＝相対評価



社会教育委員による第 3 次当別町生涯学習推進計画の評価・検証の流れ

社会教育委員が提供する評価する際の判断材料

事業視察

社会教育課担当による事業評価、学校教育評価票

教育委員会担当職員への聞き取り

第 1 回社会教育委員会（5 月 11 日）

- ・ 評価方法の説明
- ・ 事業評価・検証希望アンケート調査

6 月～

- ・ 各委員に「事業評価・検証評価委員分担表」を送付。
- ・ 各委員に毎月初めに「社会教育課内月間行事予定表」を送付
- ・ 各委員は分担表に基づき事業視察。記録用紙に感想や工夫案を記入。

第 2 回社会教育委員会（11 月 27 日）

- ・ 社会教育事業評価一覧表（中間報告）、学校教育評価票の提示
- ・ 各社会教育事業の評価についてディスカッション

3 月上旬～中旬

- ・ 各委員に下記シートを送付
 - 「当別町生涯学習推進計画評価シート」
 - 「社会教育事業評価一覧表」
- ・ 各委員はシートに評価を記入し、教育委員会へ提出
- ・ 教育委員会は各委員から提出された評価シートを集計

第 3 回社会教育委員会（3 月 26 日）

- ・ 評価シート集計を参照しながらディスカッション（グループ→全体）
- ・ 期別に「現状の満足度」「今後の重要度」をまとめる。

評価は、25 年度単年計画へ反映させる。

ただし、予算が関わる事業については 26 年度に反映させる。

平成24年度当別町生涯学習推進計画評価シート

現在の当別町が支援している生涯学習についての評価・検証について（年度毎に社会教育委員で行う）

現状評価・今後の重要度 設問項目 当別町生涯学習推進計画 自己のライフプラン (各期さらに発展させていきたいこと)	現状の満足度					今後の重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	特に重要	重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
<乳幼児期（保育所・幼稚園など）> 町内の各子育てサークル等の団体活動の促進 幼稚園・保育所の一体化に向けた子育て環境の促進 体験育（体験でふれあい、体験で学び、体験で育つ） 本育（本にふれあい、本に学び、本で育つ） 交流育（交流でふれあい、交流で学び、交流で育つ）		やや満足					特に重要			
<少年期（小学校）> 学習育1（学ぶことの楽しさを知り、意欲的に学び、学びの中で育つ） 徳育（道徳でふれあい、道徳に学び、道徳にて育つ） 活動育（活動でふれあい、活動で学び、活動で育つ）		やや満足					特に重要			
<少年期（中学校）> 学習育2（様々な学習にふれあい、様々な学習を学び、様々な学習社会で育つ） リーダー育（リーダーとしてのふれあい、リーダーとしての学び、リーダーとして育つ）		やや満足					特に重要			
<少年期（高等学校など）> 公共育（地域社会とふれあい、公共心を学び、地域社会で育つ） ボランティア育（ボランティアにふれあい、ボランティアを学び、ボランティアで育つ）		やや満足					重要			
<青年期（大学など）> コミュニティ活動、地域行事への参加 文化・スポーツ活動への参加		やや満足					重要			
<成年期> コミュニティにおける地域活動への積極的な参加 妊娠・出産・育児・教育への適切な対応 心身の健康保持		やや満足					重要			
<壮年期> 地域の人材を活用した人材バンク登録制度（とうべつ知恵袋）の拡大 地域全体で学校を支援する学校支援地域本部事業の促進 「当別町青少年健全育成町民のつどい」の効果的な実施 安全な生活、防犯・防火・防災活動		やや満足					重要			
<熟年期> 地域の歴史や文化の伝承 生活の知恵の伝承、習得した専門的知識・技能の社会への還元		やや満足					重要			
合 計		32					35			

32 / 40

35 / 40

第 3 次当別町生涯学習推進計画の評価・検証について

グループディスカッション 委員意見概要

(平成 24 年度第 2、3 回社会教育委員会より)

○達成、効果的 課題、改善

〔乳幼児期〕

こころのふれあい推進事業（ブックスタート）

- 読み聞かせボランティアの長年の功績もあり、良い事業になっている。第 2 子、第 3 子への心のゆとりになっている。

読書週間

学校帰りに子どもが立ち寄れるよう開館時間の延長や、図書室に気軽に入れる雰囲気づくりを。

この乳幼児の時期に本に親しむことは、今後の能力開発に大きく関わるので重要である。また、保護者が本を読む機会が少ないので、そのことが子どもにも影響していることも考えられる。

地域子育て力活性化事業

ゆとりの健診時にあわせて事業を組むと帰りがけに事業に参加できるなど、より多くの親子に参加してもらえないか。

〔少年期（小学校）〕

こころのふれあい通学合宿 in 当別

- もらい湯など地域の方々との関わりが素晴らしいし、家族のありがたみを感じ 1 週間で子ども達の成長が見て取れる。ジュニアリーダーの活躍が目を見張る。タグラグビーの取組も子ども達は楽しそうに参加していた。

学校との日程調整により、多くの子どもが参加できるよう配慮いただきたい。

少年の意見発表会

- 学校関係者や保護者以外にも、地域の方々など多くの町民が聴衆として参加しており、地域の方が子ども達の発表を聞くことは有意義であると思う。

発表者のクラスの子どもにも聴衆としての参加について声かけすることもよいと思う。

大運動会

本町地区と太美地区の行事に対する意識が同じとは言えない状況にあると思う。行事の魅力を伝えることや、太美地区の参加が増えるようにバスを出したり、太美地区で開催するなどの工夫を。

小中学生作品展

- 普段見られることの少ない子ども達の力作を、地域の方々が見ることができるので有意義。また、親子と一緒に作品展を訪れる姿も見られる。

〔少年期（中学校）〕

ジュニアリーダーサークルの指導・育成・協力

- 異年齢の子ども同士での関わりが持てることは、子ども達の自信につながる。今後も注目してみたい。
- ジュニアリーダー達の活躍はよく見ていて、今後も継続してほしい。

フライングディスクなど、障害者支援事業にもジュニアリーダーが関わってくれるとリーダーとしてのさらに資質向上にもつながると思う。

〔少年期（高等学校など）〕

ジュニアリーダーサークルの指導・育成・協力

- 上の子が下の子を育成するのはいいことである。

少年の意見発表会

- 最近の子供は本を読む時間が少なくなっているかなと思っていたが、発表を聞くとそうでもないことがよく分かった。

〔成年期〕

町民自主企画講座

- 折り紙作品展は毎年行ってほしい。いい作品があったし、学校にも伝えることで子どもたちもやりたいという声が出ると思う。

家庭教育の手引きの活用

使われている頻度がどうなのかを調査してはどうか。

フィットネスカレッジ

- 雪投げ後に行うストレッチを行っていたことなど、参加者の年齢やレベルに合わせた内容で行われていたと思う。

子育てを考えるつどい

過去のテーマや講師を情報提供していただけると学校としては参考になる。

〔壮年期〕

当別町文化祭

内容は充実していると思うが、子ども達の作品がもっと多いと良い。文化祭には誰でも気軽に参加できるということをPRすると良いと思う。

〔熟年期〕

高齢者学園「ことぶき大学」

男性の参加が少ないことから、男性が参加しやすい仕掛けが必要ではないか。

文化祭

- 菊花展が総合展示会場と同じ場所で、来場者にとっては一箇所で見ることができ、良かった。

〔各期にまたがる事業〕

当別学講座（北海道医療大学連携生涯学習セミナー）

楽しそうに思うが参加人数にばらつきがある。メニューがマンネリ化しないように配慮をしてほしい。

アンケートの対象が参加者のみなので、参加者以外の一般町民のニーズをとらえるために公共施設にアンケートボックスを設置してニーズを把握してはどうか。